

休館日 | 毎週月曜日 *ただし7月17日[月・祝]は開館、7月18日[火]は休館 開館時間 | 午前10時～午後6時(入場は午後5時30分まで)

観覧料 | 一般1,200円、65歳以上1,000円、大高生800円、中小生500円 *障害者の方は500円。ただし小中高大生の障害者の方は無料。介助者(当該障害者1名につき1名)は無料(予約不要)。

*未就学児は無料(予約不要)。*高校生、大学生、専門学校生、65歳以上の方、各種手帳をお持ちの方は、証明できるものをご提示ください。

*ご入館に際しては感染症予防のため手指消毒、検温にご協力ください。館内で十分な距離を保てない場合がありますので、マスクの着用を推奨しております。

*展覧会の会期および内容が、急遽変更や中止になる場合がございます。会期中の最新情報は美術館ウェブサイト等でお知らせします。

主催 | 世田谷美術館(公益財団法人せたがや文化財団) 後援 | 世田谷区、世田谷区教育委員会 特別協力 | 神奈川県立近代美術館

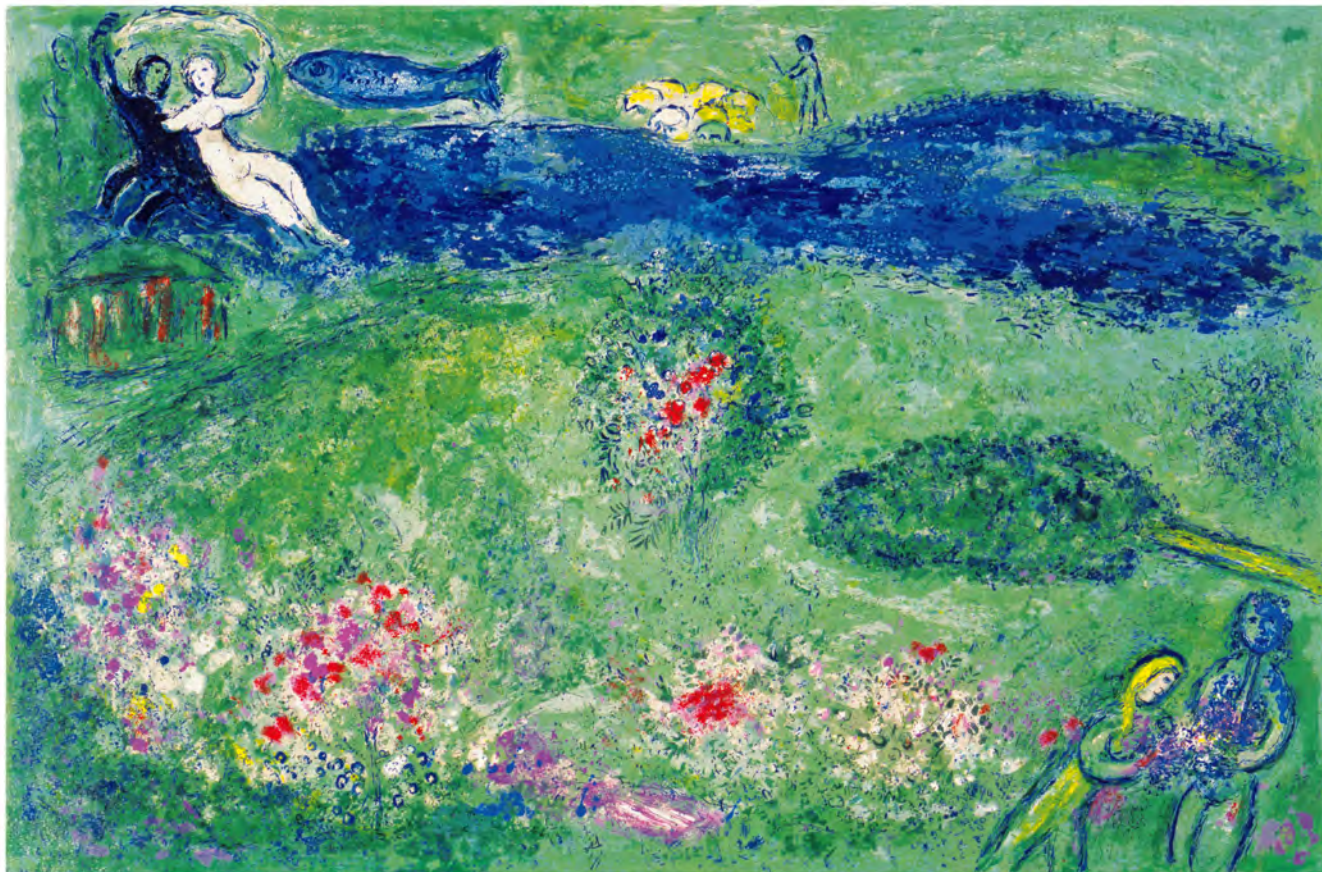
Poetic Light in the Prints of Marc Chagall

Works from the Museum of Modern Art, Kamakura & Hayama

マルク・シャガール 版にしるした光の詩^{うた}

神奈川県立近代美術館コレクションから

2023/7/1(sat) – 8/27(sun)



《果樹園》(『ダフニスとクロエ』より) 1961年刊 リトグラフ・紙
© ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2023, Chagall® E5229

世田谷美術館

SETAGAYA ART MUSEUM

本展では、展示室内の混雑を避けるため、「日時指定券」を6月15日[木]正午より販売します(オンライン・クレジット決済、またはd払い)。

オンラインでのご購入が難しい方、アーツカード等の各種割引をご利用の方は、美術館窓口で「当日券」をご購入ください。
ただし、来場時に予定数の販売が終了している場合があります。あらかじめご了承ください。

オンラインチケット販売サイト
<https://www.e-tix.jp/setagayaartmuseum/>





1. 『フィレタスの果樹園』(『ダフニスとクロエ』より) 1961年刊 リトグラフ・紙
 2. 『表紙』(『馬の日記』より) 1952年刊 リトグラフ、エッチング・紙
 3. 『無題』(『ボエム』より) 1968年刊 木版・紙
 4. 『白鳥と料理人』(『ラ・フォンテーヌ寓話集』より) 1952年刊 エッチング・紙
 5. 『無題』(『悪童たち』より) 1958年刊 エッチング、アクアティント・紙
 6. 『大きな道化師』(『サーカス』より) 1967年刊 リトグラフ・紙
- すべて神奈川県立近代美術館蔵(望月富防コレクション)
© ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2023, Chagall® E5229



マルク・シャガール 版にしるした光の詩

世田谷美術館

SETAGAYA ART MUSEUM
〒157-0075 東京都世田谷区砧公園1-2
☎03-3415-6011(代表)
展示会のご案内・050-5541-8600(ハローダイヤル)
<https://www.setagayamuseum.or.jp/>

〔交通案内〕

- ・東急田園都市線「用賀」駅下車、北口から徒歩17分、もしくは美術館行バスA「美術館」下車徒歩3分
- ・小田急線「成城学園前」駅下車、南口から渋谷駅行バスB「砧町」下車徒歩10分
- ・小田急線「千歳船橋」駅から田園調布行バスC「美術館入口」下車徒歩5分

・来場者専用駐車場60台、無料・東名高速道路高架下、厚木方面側道400m先、美術館まで徒歩5分

詩情あふれる世界を幻想的で色彩豊かに描いた愛の画家マルク・シャガール(1887-1985)。帝政ロシア領ヴィテブスクにユダヤ人として生まれ、戦禍や革命に翻弄されながらパリやベルリン、ニューヨークへと活動の地を移した異邦人画家という境遇も、作品に陰影を与えその妙味を奥深いものにしていきます。

シャガールは絵画のかたわら版画制作にも精力的にとり組み、約2,000点もの作品を手がけるなど、版画の分野でも大きな足跡を残しました。版元や工房との協働によって生まれる版画作品には、絵画とは一味違った表現と味わいが刻まれています。

本展では神奈川県立近代美術館の望月富防コレクションより、『ダフニスとクロエ』や『サーカス』など各年代と技法を代表する6つの版画集から選りすぐった作品約140点をご紹介します。技法ごとの表現の違いや物語、モチーフ、制作の背景などに注目しながらその魅力に迫ります。

〔同時開催展〕

ミュージアム コレクションⅠ
山口勝弘と北代省三展
—イカロスの夢—
2023年4月22日[土]—7月23日[日]

ミュージアム コレクションⅡ
雑誌にみるカットの世界
『世界』(岩波書店)と『暮らしの手帖』(暮らしの手帖社)
2023年8月5日[土]—11月19日[日]

〔次回企画展〕

土方久功と柿木沙弥郎
—熱き体験と創作の愉しみ—
2023年9月9日[土]—11月5日[日]

〔関連イベント〕

学芸員によるレクチャー
「版画家としてのシャガール」
担当学芸員がシャガールの芸術や本展の見どころについてお話しします。

日時 | 2023年7月23日[日]、
8月12日[土]
午後2時～3時

会場 | 講堂
定員 | 先着90名
参加費 | 無料
*当日午後1時30分より講堂前にて整理券を配布
*手話通訳付き

100円ワークショップ
「版にしるしたわたしの詩」
トレーシングペーパーとオイルパステルを使ってモニタイプの版画を作り額装します。

日時 | 7月の毎土曜、
8月の毎金・土曜
午後1時～3時

会場 | 地下創作室
定員 | 一度に20名まで
参加費 | 1回100円
*予約不要、随時受付

